

# 2016 年度

## 中国派遣留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：2016年8月29日（月）～2017年1月7日（土）

新潟国際情報大学  
国際学科  
学籍番号：21015109  
藤巻 直也

## 目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	6
	謝辞	7

## 付録

	研修日誌	8
--	------	---

## 1 研修先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：平成 28 年 8 月 29 日（木）～平成 29 年 1 月 7 日（土）

## 2 研修先概要

### (1)大学について

北京師範大学は中国北京市の海淀区に位置する。北京市は中国の首都であり、行政と経済の中心都市の一つである。海淀区には多くの大学があり、たくさんの学生が学んでいる。北京師範大学はその中でも大規模な大学である。北京四大大学の一つに数えられ、文系から理系まで非常に多くの学部を構え、あらゆる分野の研究を行うことができる。また、中国語を主に学習する漢語文化学院という学科があり、本科生として通う外国人留学生も多くおり、外国人が中国語を学ぶ上でよい環境が整っている。大学には日本語学科も存在し、日本人との交流も盛んに行われている。二名のノーベル賞受賞者の出身校ということもあり、国内外問わずかなり名の知れた大学である。

### (2)大学で行われている教育について

北京師範大学は、前述の通り、留学生向けの学科があることもあり、中国語教育に力を入れている。それぞれの学習レベルに合った細かいクラス分けがされており、一人ひとりが最適な環境で学習ができるように配慮がされている。今回私たちは短期間で語学を学ぶ「漢語進修生」として入学し、中国語を母語としない学生に中国語の教育を行うというカリキュラムを受講した。

また、大学では、中国語に関わる検定試験を受けられる機会も設けてあり、授業以外でも留学生に役立つことが行われている。

## 3 留学目的

今回の留学において、2つのことを大きな目的とした。一つは自分自身の語学力を上達させ、それを形に残すこと。約1年間の授業で培ってきたものや、それまで興味を持って独学で勉強してきたものを、将来社会に出た時に十分に発揮してみたいと感じた。そのために、今ある知識をもっと発展させなければならないと思った。また、留学中に向こうで実施される検定試験に挑戦し、それを形として残すことも考えた。そこで今回の留学では、**HSK**の試験に合格できるまでの語学力を身につけ、社会でも通用できるレベルに到達できるように学習に取り組んでいきたい。**HSK**は、中国の教育部が認定する国際的な中国語の語学検定試験である。なので、現地の方々にも違和感なく通じる本場の中国語を直に習得し、中国語でスムーズにコミュニケーションが取れるようになることを目的とした。

もう一つとして、この留学を通して、他人とのコミュニケーションに対するニガテを克服しようと考えた。私は、これまで他人と関わるのがあまり得意ではなく、過去に何度か人間関係で悩むことがあった。なので、社会に出るまでに、このウィークポイントを少しでも乗り越えたいと思っていた。そこで、私は、この留学をいい機会ととらえた。様々な国の人

たちが同じ目標を持っている環境であれば、学習の過程の中で自然と他人と話す機会が増え、大きな人間関係を築けるのではないかと考えた。自分が一人の人間として大きく変われる貴重な時間とこの留学を位置づけた。

#### 4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	29 (月)		到着、入寮
	30 (火)	入学手続き	
9	1 (木)	構内 Wi-Fi 使用可能	クラス分け試験 (筆記・口頭)
	2 (金)	入学式典	
	3 (土)		クラス発表
	4 (日)	教材販売	
	5 (月)	授業開始 (读写, 会話, 听力, 报纸阅读, 中日文化交流, 太极拳)	
	8 (木)		日本語学科との交流会
	15 (木) ～ 18 (日)	中秋節 (休暇)	
10	1 (土) ～ 9 (日)	国慶節 (休暇)	
	3 (木) 4 (金)	中間テスト	
11	5 (土) ～ 10 (木)	語言生研修旅行 (希望制)	
	13 (日)	留学生文化交流節	
	18 (日)		北京の夜
12	29 (木) 30 (金)	期末テスト	
	1 (6 (金) 7 (土)	帰国	卒業式

## 4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

### 一) 授業

留学生用の教科書を用いて 15 人程度のクラスで中国語を学ぶ、读写（リーディング）、会話（スピーキング）、听力（リスニング）の授業と、中国語の新聞を読みながら自分の意見を中国語で考察する力をつける、报纸阅读、中国と日本の関係や日中翻訳を中国語で学ぶ、中日文化交流、中国人の講師と会話をしながら本場の太極拳の動きを学ぶ、太極拳の授業を受けた。後述の 3 つは国際情報大学の学生のために特別に開講された授業であった。

### 二) 日本語学科との交流会

授業が始まってすぐに行われた、北京師範大学にある日本語学科の学生たちと交流するイベントである。お互いに出し物を披露するなどして友好を深めた。ここで知り合った中国人とは一緒に食事に行ったり北京見物に行ったりと非常に仲良くなった。

### 三) 中秋節・国慶節

留学期間中にあった 2 つの大きな連休である。中秋節は旧暦の 8 月 15 日（秋の真ん中）から約 3 日間あり名月を賞する中国伝統の習俗に基づいている。国慶節は西暦の 10 月 1 日（中華人民共和国の成立が宣言された日）から約 1 週間あり、現在の中華人民共和国を祝う日である。授業は行われない日だったため、学生たちは旅行に行ったりクラスメートと遊んだりして休日を満喫した。緊張感のある留学生活の中で、非常に良い息抜きになった。

### 四) 語言生研修旅行

中間テスト後の 1 週間授業が無い間、その間に毎年大学側が計画してくれる語言生対象の旅行である。5 泊 6 日で中国河南省へ行った。実際に自分たちで行くよりも半額以下の値段で、古代中国の歴史や文化に触れたり、現地の小学生と交流したりできた他、異なるクラスの人や主催した中国人とも交流でき、非常に有意義な時間であった。

### 五) 留学生文化交流節

今年度から北京師範大学で行われるようになったイベントで、大学にいる様々な国の留学生が自国の文化を発信する、国際文化祭のようなものである。日本はチョコバナナ、お好み焼き、射的がある縁日を開き、非常に盛況だった。

### 六) 北京の夜

毎年北京師範大学で開催される、留学生イベントである。世界各国の伝統舞踊や中国の伝統芸能などを多くの留学生が披露する。非常に名の知れたイベントで、毎年北京全域から多く

の人が訪れる。日本人は、沖縄県の伝統舞踊である「エイサー」を披露し、観客たちを盛り上げた。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

### 一)語学能力を進歩させ、成果を形に残す

留学開始当初は、今までの学習でやっていたことがまったく通じず、ファストフード店でメニューを注文することさえもままならない状況であった。しかし、日々の授業や、日常生活で中国語に触れていると、日本にいただけでは学べなかった、独特の言い回しや役に立つ構文などの多くの新しい知識を得ることができた。その結果、少しずつ中国語のスキルは上達し、ネイティブの人たちとも簡単な会話ならできるようになった。

HSK の受験にも意欲的になり、5 級の試験を受験した。非常に難関で合格するか直前まで不安だったが、学習の甲斐あり何とか合格することができた。将来に向けてとても有益な資格を取れた。

### 二)学習を通じて、コミュニケーション能力を上達させること

同じ新潟国際情報大学から来た学生たち以外には知り合いがない環境で、最初はクラスメートと上手く関わることはできない状況だった。しかし、学習の過程で、徐々に他人と話す機会が増え、多くの人と接することができた。次第にクラスにも溶け込め、クラスメートとも仲良くなれた。

また、学外で行われている日中交流会に積極的に参加し、現地の友人も沢山できた。コミュニケーションに関する不安が少し克服できたような気がした。

### 三)異文化と多くの価値観を理解すること

この留学を通して、様々な人と出会った。宗教などの理由で特定のものを食べられない(食べない)人、国の習俗からある行為がタブーとされている人、セクシャルマイノリティの人など、普段身の回りで見たことの無いような文化や価値観を持っているひとが大勢いた。そのような人たちと共に友好的にやっていくには、それぞれの文化や考え方を十分に理解し、尊重しあうことが大切であるということを改めて実感した。

## 6 反省・課題

132 日間に及ぶ今回の留学生活では、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な時間となった。

今回の留学で学んだことがゴールではなく、これからも中国や情報についての勉強を粘り強く続けていくための新たなスタート地点にしていきたい。機会があればもう一度中国へ

留学し、さらに異文化に対する理解を深め、様々な物事を世界的な視点から考えることを大切にしていきたい。

## 謝辞

今回、北京師範大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった楊 泉さん、郭 帥さん、彭 金玉さん、陈 昭さん、星 星さん、副班主任の何 玲玲さん、日本人会の皆さんを初めとする、大学内外で関わった皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国派遣留学担当で 2016 年度前期の授業、留学中の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、佐藤若菜先生、區 建英先生には心より感謝いたします。最後に、今回新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、有意義で充実した留學生活が実現できたことを、心から感謝いたします。

## 付録：留学日誌

8月29日（月）～9月4日（日）
出発、入学手続き、クラス分けテスト、入学式典、クラス発表
この週の主な内容 ・新潟駅から成田空港までジャンボタクシーで移動、空港で佐藤先生と合流 ・成田空港から北京まで飛行機で移動→到着後何さんと合流、大学までバスで移動 ・30日に入学手続き（必要書類の提出）→何さんから大学とその周辺の紹介 ・1日クラス分けテスト（リスニング、筆記、口述）→3日クラス発表 ・2日に入学式典 ・1日より講内 Wi-Fi 使用可能（毎月使用料を払う）

### この週の所感

日本から飛行機で約3時間、降り立った場所は北京。皆元気であったが、これからの留學生活に対する期待と不安でいっぱいだった。大学での手続きは、何さんや日本語の分かる先生のおかげでスムーズに終えることができた。クラス分けテストはあまり難しくなく、私たちのレベルで解ける問題も多かった印象を受けた。

9月5日（月）～9月11日（日）

この週の内容

- ・授業開始（教二楼、教四楼）
- ・8日に日本語学科の学生との交流会
- ・10日に日本人会による日本人新入生オリエンテーション（北京の夜参加者募集開始）

#### この週の所感

授業が始まり、本格的に留学生生活が始まった。读写、会話、聴力の授業は一課を1～2週間のペースで進めていく。毎日の授業は中国語で進められるので、先生の話聞いて理解しなければ授業は成立しない。そのため集中して授業を受けていたのものごく疲れた。「中日文化交流」の授業では、先生が時々日本語を交えて授業をするので、理解しやすかった。

10日は北京師範大学にいる日本人を交えての交流会だった。留学期間中、いざと言う時に助けてくれる存在の日本人会と、他の日本人との主な出会いはここから始まった。

9月12日（月）～9月18日（日）

この週の内容

- ・15日より中秋節の休暇

#### この週の所感

留学が始まって最初の休暇。授業が始まったばかりでまだ緊張感があったが、それを解き放す為のいい休暇となった。旅行をしたり、友達と遊んだりして、非常にリラックスして過ごした。

9月19日（月）～9月25日（日）

この週の内容

- ・特に変わった内容は無し

#### この週の所感

报纸阅读の授業では、中国語の新聞を読み、その内容を要約した上で、自分の意見を発表するという内容の宿題が出された。（毎週2人ずつ）

9月26日（月）～10月2日（日）

この週の内容

- ・1日より国慶節の休暇（9日まで）



### この週の所感

授業中の先生の話も聞き取れるようになり、少しずつ周りについていけるようになった。

10月3日（月）～10月9日（日）

この週の内容

- ・国慶節のため授業はなし
- ・9日に北京の夜の事前説明

### 国慶節の所感

9日間という非常に長い休暇であった。3泊4日の旅行に行ったり、1日中勉強したり、休暇の使い方は人それぞれであった。とても充実した休暇となった。

10月10日（月）～10月16日（日）

この週の内容

- ・北京の夜の練習開始
- ・15日に日本語学校での日中交流会

### この週の所感

北京の夜の練習が始まった（毎週月、水、土曜日）。本番までの2ヶ月間でエイサーの素晴らしさを伝えられるように総勢31名で日々の練習に力を注いだ。

15日には近くにある日本語学校で行われた日中交流会に参加した。北京の様々なところから中国人と日本人が集まり、お互いに趣味や好きなことについて話したり、ゲームを楽しんだりした。ここで多くの中国人と仲良くなり、人間関係に新たなつながりができた。

10月17日（月）～10月23日（日）

この週の内容

- ・22日に日中交流運動会（日本人会主催）

### この週の所感

日中交流運動会では、日本人と北京師範大学の日本語学科を始めとする中国人学生との親睦を深めるため、スポーツを通して、交流するというイベントであった。非常に楽しい雰囲気の中でゲームが進んでいき、時間があっという間に過ぎた。また新たな人間関係が築かれた。

10月24日（月）～10月30日（日）
---------------------

この週に大きなイベントは無かった。

10月31日（月）～11月4日（金）
--------------------

この週の内容
--------

- ・3日、4日に中間テスト

### 中間テストの所感

中国に来て初めての試験で緊張したが、事前の授業で試験対策などを採ってくれたため、安心して試験に臨むことができた。教科書の範囲から満遍なく出題されたので、学習に抜けがあると難しいなど感じた。

テストの後に、クラスメートと食事会を行った。日々の授業や一人ひとりの趣味の話などで盛り上がった。

11月5日（土）～11月11日（金）
--------------------

この週の内容
--------

- ・中間テスト後の研修期間につき授業はなし
- ・5日から10日まで語言生研修旅行（自由参加）

### 研修旅行の所感

5泊6日で河南省を訪れた。現地の方言や独特の習慣・食べ物は北京にいるだけでは味わえないものに触れることができた。また、異なるクラスの人ともこの旅行を通じて知り合うことができた。

11月12日（土）～11月20日（日）
---------------------

この週の内容
--------

- ・12日に北京の夜予選
- ・13日に留学生文化交流節

### この週の所感

練習を始めて1ヵ月、北京の夜でやるエイサーを初めて他人に見せることになった。今までの練習の成果を十分に発揮できたのではないだろうか。予選の審査員からも拍手が起こり、無事予選を通過した。

翌日の文化交流節でもエイサーを披露した。大勢の観客を沸かして、イベントの成功

に一役買った。出店した日本のブースも非常に盛り上がり、沢山の人たちを楽しませることができた。

11月27日（月）～12月3日（日）

この週に大きなイベントは無かった。

12月4日（月）～12月10日（土）

この週に大きなイベントは無かった。

12月11日（月）～12月17日（日）

この週の内容

- ・14日、16日より北京の夜リハーサル→17日北京の夜本番

#### この週の所感

大学全体が北京の夜ムードとなり、いかにこのイベントが大きなものなのかを改めて感じた。この中でエイサーを踊れることに感謝して、本番に臨んだ。大勢の観客で埋まった会場が沸いたときはとても大きな達成感があった。

12月18日（月）～12月24日（日）

この週に大きなイベントは無かった。

12月25日（月）～1月1日（日）

この週の内容

- ・29日と30日に期末テスト
- ・30日の夜に日本人会の忘年会&お別れ会
- ・31日に日中交流会に参加

#### この週の所感

授業最後の週。最初のころと比べると、色々な面で大きく成長できたなと感じた。期末テストは、中間テストよりも内容が難しかったが、今までの学習の成果を十二分に発揮できたので、特に分からない問題は無かった。テストの後はクラスメートとの最後の食事会もやり、もうすぐ来てしまう別れのときを惜しんだ。

31日には最後の日中交流会に参加した。中国人の人たちと日本の紅白歌合戦を見て楽しんだ。その後、近くの広場でカウントダウンをして、初めて海外で向かえる年越しを満喫した。

1月2日（月）～1月7日（土）

この週の内容

- ・4日に何さんとのお別れ食事会
- ・6日に卒業式
- ・7日に帰国

#### この週の所感

北京にいる最後の週ということで、お世話になった人たちに色々挨拶廻りをした。特に副班主任の何さんにはとてもお世話になったので、お別れ食事会では、1人ずつお礼の品をあげた。とても喜んでくれた。

卒業式には沢山のクラスメートが来てくれて、とても感動した。先生やクラスメートに、感謝の手紙を渡し、帰国しても忘れないようにと伝えた。

帰国の際には、日本人会の人に手伝ってもらいながら、スムーズに出国できた。